

ご近所のお医者さん

□

373

□

泉岡医院院長

泉岡利於さん＝大阪市都島区

出逢いみつめる



患者さんの中で不整脈を訴えて来院される方は少なくありません。不整脈とは、脈が乱れる疾患すべてを指しており、数多く存在します。その中で大きく分けて①脈が速くなる頻脈性不整脈②脈が極端に遅くなる徐脈性不整脈③俗に「脈が飛ぶ」と言わ

不整脈は怖い？

れる期外収縮——の三つに分類されます。

不整脈は、日常生活で頻繁に起こっていても、来院された際の心電図の検査値は正常であることが

治療が要るか受診を

多くあります。そこで、自覚症状の頻度が高い時には、ホルター心電図という検査を行います。普段の生活を送りながら、心電図の装置を24時間装着することによって、どのような不整脈が起こっているかを調べます。しかし、検査をして

している24時間のうちに不整脈

が起こらなければ、どのような不整脈であるかがわからず、判断できません。そのうち100発や200発きないこともあります。つまり、不整脈は常時起こっている場合以外は非常にわかりにくい疾患であると言えます。

ただ、不整脈は必ずしも治療をしないといけない疾患ではありません。治療が必要になる場合は、治療が要るか受診を

場合がありますので、専門医とご相談ください。

せん。むしろ、症状があっても治療をしなくてもよい不整脈も多くあります。例えば、前に述べた不整脈の中には「期外収縮」です。期外収縮は、心室性と上室性がありますが、上室性は基本的に治療の必要性はほとんどありません。心臓は一日

おおよさが

